



父から譲り受けた、海や自然の楽しみ方を伝えたい

日本で初めてウインドサーフィンをした人は、この大川さんのお父様だ。

大川さんは幼い頃から、父親と一緒に海で遊ぶ大人を間近で見てきた。

沼津に住みながらも意外と海や川に触れていない人が多い沼津の中では、極めて珍しい存在だ。

「物心ついた時にはほぼ毎日海で遊んでいました。

幼いながらに海のこと、空、風の話をよく聞いていたので

自然に対する知識は身についたと思います。

中学生の頃は時間があると親父にウインドサーフィンを教えてもらい、色々な海へ連れて行ってもらいました。

今は、平日は左官・タイル職人をしていますが、

週末は時間が許す限りは海へ出ています。」

大川さんのショップは、御用邸から牛臥海岸に向かう途中にある。

その一角だけは、南国の世界のような、

楽しんで作られたことが感じられる外装や小物が並ぶ。

マリンスポーツに関するレンタル器材や購入後の

アフターサービスはもちろん、シャワーや休憩所も揃っている。

ワンストップで全てが揃っているので

県外からの友人を招いて、マリンスポーツを楽しむにも適している。

仕事で忙しい中、海にも入り、

そこもまた仕事だとなると、時間的、体力的に

なかなかハードな印象を受けるが、

ショップを続けていく中で

難しい点はあるかと聞いた。



自然の大切さや怖さ、素晴らしさを心や肌で感じて欲しい

「海のショップ運営で難しいと思った事はありません。
やはりここに来てくれる皆さんと一緒に楽しんでいる様なものですからね。
一番嬉しいことは、
来てくれた方が自分より楽しんで帰ってくれる事でしょうか。」
本当に海が好きで、
ショップ運営はダブルワークではなく、自然の生活なのだ。



夏の、沼津ビーチフェスでは、沢山の体験スクールを担当し、イベントを運営をしている。今では沼津だけではなく、県外からも沢山の人が訪れる沼津の一大イベントとなった。このようなイベントを通じて、大切にしている点はと聞いた。

「ウインドサーフィン、SUPを通して自然の大切さや怖さ、素晴らしさを心や肌で感じてほしいです。

海という沼津の宝を通して、子ども達に沼津でしかできない文化の教育ができたらと思っています。ゲーム機で遊ぶのも良いと思いますが、子供達には努力した分、本当の楽しさが分かるということをマリンスポーツで体得してほしいですね。」

沼津の課外授業にマリンスポーツをとりいれたい

キラキラとした笑顔で、海を見渡しながら叶えようと思っている夢を語ってくれた。

「沼津の小学生から高校生の課外授業の中にウインドサーフィン、SUPを取り入れたいんです。

牛臥は基本オンショア（海から陸にかけて吹く風）なので風を受けて走るウインドサーフィンは初心者にも最高の海なんですよ。」

それができるのは、沼津のこの土地ならではのことだ。

それを体験した子供達は、大人になってもきっと

沼津の海を、自然の楽しみ方を忘れないだろう。

それはまさにお父様から自然の楽しみ方を譲り受けた大川さんのように。



Q

最近、魅力を再発見したものは？



DeMer（ドゥメール）
ウインドサーフィンショップドゥメール・オオカワ
TEL・055-931-0676
沼津市下香貫牛臥 2802-5